

「熱い心」 ～日本一熱く、絆強き学校への道～



学校文化を受け継ぐ！ ～2022 後期生徒会選挙～

生徒会選挙の大きな意義の1つが「学校文化を受け継ぐ」こと。その先頭に立って頑張ろうと22名が立候補。ワクワクする頼もしい顔ぶれがそろったね。何よりその勇気とやる気が素晴らしい。「日本一熱く、絆強き学校」への道をどう受け継ぎ、どう進化させていこうと決意しているのか。…立会演説会では、今抱いている一中への思い、自分自身の決意を思う存分に伝えてほしい。頑張れ～。そして、その仲間たちの熱い思いを全員できっちりと受け止めていこう。熱い思いを本気で伝え、仲間がその思いを本気で受け止める。それが思いをつなぐということ。熱い思いをつなぎ合う生徒会選挙であれ！一人一人の思いが学校をつくる！つなぎ合った熱い思いが強き絆をつくる！

会長候補	3-1	高野 永	2年副会長候補	2-1	菘部碧大
	3-2	石井 就		2-2	野田賢太郎
	3-2	河野琉生		2-2	加木貴琉
3年副会長候補	3-1	内山飛馬	1年副会長候補	2-1	大村優菜
	3-2	式村龍馬		2-2	永松しぐ沙
	3-1	田上希乃佳		1-1	岩崎比呂
	3-1	長田花奈		1-1	田島 伶
	3-1	松下琴春		1-2	岩崎駿真
	3-1	宮田明日菜		1-3	岩崎 蓮
	3-2	野中あみ	1-1	田中瑠奈	
			1-2	和田愛未	
			1-3	大村瑠菜	

熱い志を語れ！

生徒会に関するデータは全国的にもあまりなく、千葉市の生徒会活動実態調査を参考してみると、驚くことに生徒会長選挙において競争選挙が行われていたのは、当時市内全市立中学校55校中わずか4校、率にして7%しかなかったとのこと。…つまり立候補者が一人しかいなくて、信任選挙となっているわけだね。もちろんこの形がダメだということではないけれど、学級の中から候補者を生み出すあの様々な葛藤(かっとう)の過程がなく、わが一中がやっているような早朝から学級の仲間と一緒に選挙運動を行って支え応援し、わが学級から勇気を出して立候補した仲間を何としても当選させるぞという熱い空気も生まれにくい。やはりこれらの苦しい過程や「壁」をみんなで乗り越え、全校生徒がくいているように立候補者の熱い決意を聴き、自分たちが目指す学校を創るために必要なリーダーを、一人一人が責任を持って選ぶことが重要だね。そうすることで「生徒会」とは196人全員のことを指すんだということへの理解を深め、自分自身が生徒会の一員であるという自覚を持つことにつながるわけだね。そう、これが「一人一人の熱い思いが学校をつくる！」ということ。…仲間のために思いをこめて描いた選挙ポスター、候補者名を書いたタスキ、朝早くから集まって仲間の勇気を応援する選挙活動…、その一つ一つが生徒会活動への参加だね。22人の候補者たちの公約を読むと、どれも素晴らしい。どんな学校にしたいのかという熱い思いにあふれ、そのために自分はどうしていきたいんだという決意がひしひしと伝わってくる。この熱い志と勇気が日本一実現への原動力！伝統と校風を受け継ぎ、さらに進化させて新たな学校文化を創っていこう。



自分が
どんなふうになりたいかは
自分の決心したい

「日本一熱く絆強き学校」のように、志を持つとき、「できるか・できないか」ではなく、「そうなりたいかどうか」が判断基準でありたい！そんな生き方をしていこう！

